

11月行事予定

写経供養会

11月14日(日) 午前11:30

この一年で奉納された写経を供養します。

御 豊 講

11月20日(土) 午前11:00 講金:1,500円也

本堂の御豊替えのご寄進をお願いいたします。

朝まいり会

11月1日～7日 午前8:00～8:30 講金:500円也

写経の会

11月13日(土)、14日(日) 午前10:00のみ 会費:500円也

合同大般若法要

11月25日(木) 午前11:00 法要料:5,000円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆様とご一緒にお上げする御礼の法要です。

坐禅の会

11月27日(土) 午前9:30～10:30 会費:500円也

いちょう掃除の会

11月28日(日) 午前9:00～10:30

末社詣りの会

11月30日(火) 午前10:00～ 参拝無料

12月の行事

御 開 扉

12月8日(水) 午前9:00～午後2:00 参拝無料

星祭大法要

12月22日(水) 午前11:00 講金:1,500円也(1鉢増毎500円)

いちよう

「四弘誓願と五大願」

杉本真海

【四弘誓願(しぐせいがん)】

衆生無辺誓願度(すべての衆生を救う誓い)

煩惱無尽誓願断(煩惱を断ずる誓い)

法門無尽誓願学(仏法を学ぶことの誓い)

仏道無上誓願成(悟りを目指すことの誓い)

【五大願(ごだいがん)】

衆生無辺誓願度(すべての衆生を救う誓い)

福智無辺誓願集(福智を求める誓い)

法門無尽誓願学(仏法を学ぶことの誓い)

如来無辺誓願事(仏に帰依する誓い)

無上菩提誓願成(悟りを目指すことの誓い)

日本の仏教には様々な宗派がありますが、この四弘誓願は日本の仏教の宗派のほとんどでお唱えする誓いの文言であるようです。

我々個人が持つ誓願としては少々立派過ぎるものではありますが、どの寺院であっても仏様をお参りするとき、仏様をお願い事をするときには常に意識できると良い内容です。

五大願は、密教を含む作法の際に四弘誓願の代わりにお唱えすることが多く、当院の大般若法要や百味法要でも導師がお唱えします。

どちらもとても似た文言ですが、五大願では「煩惱無尽誓願断」が「福智無辺誓願集」に置き換わっております。

それぞれ、煩惱を断ずると表現する四弘誓願に対し、五大願では“福德と智慧”を集めるとあります。

2021年11月号

令和3年10月20日発行/No.347

発行所：待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

“福德”とは、仏教辞典には「善い行い、それがもたらす善い報い」とあります。

五大願では善い行いから善い報いに繋げる好循環を作ること、尽きることのない煩惱の悪循環を断ち切ろうという考えであるともとらえられます。

煩惱を受け入れ、お願い事を悉くかなえることによって仏道へ導く、聖天様の性格の根本とも言えます。

また、四弘誓願には無い「如来無辺誓願事」の句も、聖天様に仕え結果を全てゆだねるという意味にもとらえてよいでしょう。

様々なお願い事の中でも煩惱ともとらえられるお願い事も多くあると思いますが、途中経過はともかく最終的には全て共通する一句目の「衆生無辺誓願度(限り無い生きとし生けるもの全てを救うことを願う)」に繋がるのが聖天様のご利益です。どうしてもお願い事をかなえたいけれども何をしたら良いかわからない時は、状況に応じて四弘誓願、五大願の内容になるべく沿うように物事を進めていくことが、ご利益につながる最短距離と言えます。

もちろんどんな場合でも聖天様にお任せをすれば必ず良い方向に導いてくださいますが、遠回りの信仰をしていないか、今一度確かめるのも良いのではないのでしょうか。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。



期間限定行事のお知らせ

新型コロナの影響が長期化する中、例年であれば大人数の集まる御縁日法要等ですが、引き続き密集を防ぐため僧侶・総代・世話人以外の方は原則オンラインのみの参加に限らせていただいております。また本堂内での長時間の参詣もご遠慮していただいております。聖天様とのご縁を深めていただく機会が十分とは言えず当院としても心苦しい状況であります。

一方で、少人数で行われる朝まいり会、写経の会などに関しましては1年以上にわたり安全に開催をしております。収束するまではこのような小規模イベントがメインになるものと思われます。元通りの生活に戻るまでの期間、少しでも安全に多くの方に聖天様とのご縁を深めていただきたく、11月より期間限定で少人数イベントをいくつか開催していきます。

①坐禅の会

坐禅の会は長らく中止となっておりますが、期間限定で午前中開催で再開します。参加料500円

日時:11月27日(土) 定員:30名
午前9:30~10:30終了予定

場所:待乳山本龍院 信徒会館大広間
参加方法:10月20日より予約受付開始

※注意事項
マスク着用の上、微音でおとなえ下さい。

②いちょう掃除の会

例年境内いっばいに散るいちょうの落ち葉を皆様と一緒に掃除をします。

日時:11月28日(日) 定員:20名
午前9:00~10:30終了予定

参加方法:10月20日より予約受付開始

※注意事項
マスク着用をお願いします。

③末社詣りの会

参拝方法の一例として、当山僧侶が皆様と一緒に順番に末社を回りお詣りをします。

日時:11月30日(火)
午前10:00~

参加方法:当日10:00本堂前集合

※注意事項
マスク着用の上、微音でおとなえ下さい。

令和4年正月案内

本年同様、来年の正月参詣に関しましてご案内いたします。

▶ 3ヶ日のお屠蘇接待は中止とさせていただきます。

▶ 正月特別祈禱は3ヶ日、各日午前11時よりおこないます。(法要は僧侶のみで執り行います。ライブ配信をご利用ください)

▶ 1月7日の『大根まつり』は中止となります。

当日は11時より法要のみ執り行います(詳細は追って、いちょう等でご案内いたします)
なお、今後の情勢に応じて、変更となる場合がございます。



----- 諸行事参加について -----

コロナ禍が続いておりますが、現在の諸行事の参加ならびに申込方法をお知らせいたします。

◆朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会は予約制となっております。

朝まいり会は毎月1日から7日の中からお一人一日のみ参加できます。定員は10名です。

写経の会は第2日曜日とその前日の土曜日の計2日、それぞれ定員28名で午前10時のみの開催となります。

いずれも毎月15日より、翌月分のご予約を専用電話番号にて、ご本人様のみ受付いたします。

朝まいり会はライブ配信が
ございますので、ご利用ください。



予約電話番号080-7419-1297

<http://www.matsuchiyama.jp/2asamairi6.html>

◆諸講、合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行います。ライブ配信がございますので、ご利用ください。お申込み頂いたお礼、お供え物等は法要終了後より受け取り可能です。

<http://www.matsuchiyama.jp/houyoulive.html.html>



◆日曜勤行

当面の間、中止とさせていただきます。

※今後の情勢に応じて、変更する場合がございます。

訃報

大井光晴氏 令和3年10月逝去 享年86歳

平成16年より平成30年まで当院の信徒総代として長年にわたりご尽力いただきました。在任中はその温厚なお人柄で総代会をまとめていただきました。謹んでお悔やみ申し上げます。



【行事紹介】11月御縁日大法要・行事紹介

写経供養会

11月14日(日) 午前11:30



11月14日、写経供養会を執行いたします。

年度ごとに会員の皆様が奉納されたお写経を本堂で宝前にて供養する法要です。

仏道修行の一環である写経ですが、最近は心をリラックスするための精神修養(しゅうよう)として行じられている方も多くいらっしゃるようです。

コロナ禍において写経の会が段階的に再開をして、早1年以上が経ちました。会員の皆様には人数制限等で今もなおご不便をおかけしております。

普段の生活をより良く送っていただくには、揺れ動く心を落ち着かせなくてはなりません。多くの会員の皆様にまたご参加いただけるよう早期の収束を祈っております。

また巻数ごとの表彰、記念品の授与も本年も残念ながら昨年同様、見送る形となりました。表彰対象者の表彰につきましては、来年以降に延期といたします。また講金の志納もございません。

畳講

11月20日(日) 午前11:00 講金:1,500円

参道のいちょうが色鮮やかになる頃、畳職人さんが2~3日にわたって、本堂をはじめとする当院の畳を張り替えます。張り替え後に漂うイグサの独特の香りは年の瀬の近さを感じさせます。

講中に申込まれた皆さま方のご寄進により、毎年きれいな畳の上で、我々僧侶もお勤めをさせていただき、また清浄な堂内によって尊天様もお喜びかと思えます。今後もこのようなき伝統を引き継いでいくため、皆さま方のご協力を心よりお願い申し上げます。

※上記、各法要当日は一般参拝は出来ません。ライブ中継を行いますので、ご自宅でご一緒にお勤めください。(詳細は2面参照)



待乳山便り

開山会報告



法要前、住職のお点前(てまえ)で尊天様への献茶を用意し、担当の世話人が献茶を授かりお練りにて昇堂。

堂内にて住職と出仕僧による献茶の儀を行い御宝前にお供えいたしました。

参道では、コロナ禍以前は野点(のだて)接待があり賑やかな

様子でしたが、今年は中止となり少し寂しい様子でした。

来年こそは皆様と開山を盛大にお祝いしたいと願っております。

※法要は総代3名、世話人2名で列席で執行いたしました。

ご奉納

井上穰・裕子様より修法ならびに法要時に用います『沈香(じんこう)・伽羅薫香(きゃらくんこう)』をご奉納いただきました。

